

BARCOS

映画『遙かな町へ』を通じた地域共創とブランド価値向上への取り組み

2025年7月16日

株式会社バルコス

映画『遙かな町へ』の制作に向けて、2025年7月13日（日）、「映画『遙かな町へ』を応援する会」(以下、「応援する会」)のキックオフミーティングが開催されました。当日は1,000名を超える支援者・関係者が来場し、会場は大きな熱気と期待に包まれました。イベントでは、監督を務める錦織良成氏によるトークに加え、弊社代表取締役 山本 敬も登壇し、映画制作と地域連携への強い想いを語りました。

◆ 地域共創によるプロジェクト推進

「応援する会」は、映画制作を通じた地域活性化を目的に、市民・企業・行政が一体となって構成された団体です。現在は、広報活動や協賛金の募集・管理に加え、今後の撮影開始に向けたロケ支援、公共施設の申請調整など、映画制作のさまざまな側面を地域全体でサポートする体制が整えられています。このような地域発の活動は、文化振興だけでなく、地域ブランドの創出・強化や、交流人口の増加など、持続可能な地方創生の一助となることが期待されます。

◆ 地域の誇りを世界へ——映画が生む文化資産

キックオフミーティングでは錦織良成監督が登壇し、「倉吉を誇りに思える映画をつくりたい。日本文化を世界に届けることが目標だ。」と語り、原作者・谷口ジロー氏の世界観と倉吉の魅力が融合する映像作品の可能性を強調しました。

本プロジェクトは、国際的評価を受ける原作者・谷口ジロー氏の作品と、自然や歴史、文化に恵まれた倉吉の魅力を融合させ、新たな地域発の文化資産を創出するものです。地元の力を起点に、映像コンテンツを世界市場へ展開することを見据えた、戦略的な地域創生プロジェクトです。

◆ 地域発信の重要性と当社の姿勢

弊社代表取締役 山本 敬は、創業当初に「倉吉でバッグが売れるのか」と問われた経験を引き合いに、地方発の挑戦が当社の成長の原点であったことを紹介しました。この経験を踏まえ、「世界を目指すには、まず地元で信頼と成果を築くことが何より重要である」と強調。映画『遙かな町へ』を核とした地域との共創は、当社ブランドの価値を深化させると同時に、地域社会との持続的な関係構築を通じた企業競争力の強化にもつながると語りました。

◆ 「倉吉から世界へ」—— 地域貢献とブランド価値向上を両立

弊社では本プロジェクトへの参画を通じて、地域とともに創り上げる文化的価値を国内外に発信し、「倉吉発」の誇りあるものづくり企業としてのブランド確立を図ってまいります。今後も事業を通じた地域貢献を継続的に推進し、地域社会との連携による持続可能な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以上